

令和4年度第2回 といかん本音トークまとめ いま、この地区になにが必要か

第1回目の議論のうち、「農業」と「地域活動」をテーマにさらに深掘り！

【第1回といかん本音トークでの意見】

農業を支える
 地域一体で体験の場づくり
 →体験すると選びやすい
 →住まいや生活サポート

地域活動の転換

「ごちゃまぜ」→サービスの担い手と受け手がごちゃまぜ
 →利用者が職員を育てる

巻き込み力→新しい人や地域を巻き込む

生きがいとやりがい→地域の中で役割を持つ

皆が集まる場所づくり

靴を脱がずに集まれる場所

【第2回といかん本音トークでさらに深掘り】

必要なこと

新規就農者の教育

- 皆で教育する場があるとよい
- マニュアル化できるところがあるのでは
- 酪農ジョブコーチはベテラン酪農家

食事の共同配食

- お手伝いさんの食事の提供を共同で実施しては

短期就業の場所づくり

- 住み込みで短期間働ける場所
- 紹介システムの構築

農業をやりたい人の勧誘

- 問寒別で営農できることを宣伝
- ニートの的な方の受け皿などとしてPR

何か一緒にできることから(酪農にこだわらない)(多数決じゃなくていい)

- **まずは果樹園の共同運営+α**
 - ・余った土地を活用
 - ・果樹栽培の経験のある人に
 - ・機材は農家にある
 - ・売る場所も検討したい
 - ・農福連携で千葉さんと連携
 - ・収穫はオーナー制度で来てもらう
 - ・あずは苗木を皆で植えることから
 - ●さんの民宿で議論しよう

共同で課題解決できるかも

まずはやってみよう！

必要なこと

体験、経験の場

- 活動を「見せる」、楽しんでいるところを「見せる」機会をつくる

活動の発表の場

- 手芸や木工品、文化祭の展示もあるがやっぱり販売する場を
- 売る楽しさも必要

人と人がつながるチャンス

- 「教える」と「教えて」のマッチング

「ごちゃまぜ」の場づくりを進めたい！

- **手芸・工芸・野菜の販売所**
 「(仮称)といかん みんなの市」
 - ・9月末に野菜、11月初旬に手芸、木工、陶芸
 - ・場所は空き店舗か事業所の空きスペースで(行政の施設にこだわらない)
 - 皆でお願い、見学にいこう
 - ・時間は朝でもよい、「朝市」で
 - ・負担集中しないようリーダーは設けない
 - ・野菜の袋詰めはお願いできる場所へ
 - ・広報のチラシは得意な人をお願いする
 - ・売り方は「名だし」か「ごちゃまぜ」か
 - ・コロナに配慮がいる

「ごちゃまぜ」を進めよう

まずはやってみよう！